

1 川口市立医療センター



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）102名（うち指導医数 59名）
- 研修医数 1年目 12名 2年目 12名
- 研修医の主な出身大学 日本大学・東京慈恵会医科大学・昭和大学・高知大学・東京医科大学・弘前大学・筑波大学・杏林大学・福島県立医科大学・山形大学・東京女子医科大学
- 診療科 内科 消化器内科 血液内科 神経内科 呼吸器内科 腎臓内科 糖尿病内分泌内科 循環器科 小児科 精神科 外科 消化器外科 乳腺外科 呼吸器外科 小児外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 心臓外科、産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 麻酔科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 1105.2名 ● 1日平均入院患者数 468.1名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院（基幹災害医療センター）、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉



研修プログラムの特色

- 各科・各部門にわたる医師として必要とされる基本的な姿勢・態度及び救急処置の初期治療等プライマリ・ケアを中心とした、医療知識・技能を習得するための内容で構成されています。
- 2020年のプログラム見直し以前より外科・産婦人科・小児科を必修としており、緊急時に必要な基本手技の充実を図っています。
- 地域医療は同じ埼玉秩父の国保町立小鹿野中央病院にて医療・保健・福祉が一体となった地域包括ケアの実践を学ぶことができます。
- 精神科研修は同じ埼玉南部の北辰病院または戸田病院での研修となります。



プログラム 例 川口市立医療センター卒後臨床研修プログラム（総合コース）（募集人員12名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科							救急		外科		小児科	
2年目▶	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目									

内科28週・救急部門12週・地域医療4週・外科8週・産婦人科4週・小児科4週・精神科4週（北辰病院、戸田病院）・選択科目40週（一般外来は内科28週のうち4週を総合内科として研修）



研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次約37.2万円、2年次約38.7万円
- 諸 手 当▶ 通勤手当、時間外手当、期末手当
- 保 険▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険適用、医師賠償責任保険（病院において加入なし）
- 勤務時間▶ 8時30分～17時15分
- 当 直▶ あり（4回/月）
- 休 暇▶ 2日/週、有給休暇、夏季休暇
- 宿 舎▶ あり（使用者負担2万円/月）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 【協力型臨床研修病院】
 - ・医療法人秀峰会北辰病院
 - ・医療法人高仁会戸田病院
- 【研修協力施設】
 - ・医療法人刀水会齋藤記念病院
 - ・医療法人時任会ときとうクリニック
 - ・国保町立小鹿野中央病院
 - ・安行診療所



当院の魅力

プライマリ・ケアから高度専門医療まで！

当センターは昭和22年に開設され、平成6年5月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市民病院から川口市立医療センターに変更されました。同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフが丸くなって高度医療の充実に寄与しています。診療科数29科539床を有し、平成30年4月から地域医療支援病院となるなど、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。



研修責任者から



プログラム責任者・院長

國本 聡

初期研修を受ける施設として「豊富な症例、安心して働き学べる環境、厳しい指導医」が条件でしょう。当院は1日の外来患者数約1100名、入院患者数は約500名であり、全くの初診の一次患者から、救命救急センターでの治療を必要とする三次の患者まで幅広い症例を扱っています。また、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院災害拠点病院（基幹災害医療センター）も擁していることから、症例の豊富さは折り紙つきです。指導医は数が豊富なだけでなく極めて教育熱心であり、研修医のバックアップにも上級医が必ずついています。自主的かつ積極的に貪欲に学びたい若き国手にとっては、単なる臨床的な知識や技術の獲得のみならず、人間形成にも役立つ素晴らしい2年間が過ごせると確信しています。

先輩研修医から



研修医2年目

黒田 敬史

私は元々学生時代の実習でお世話になり、お会いした先生が生き生きと研修しているのを見て、自分も研修先として選びました。手技を率先して行うこともでき、また、臨床に必要な知識を先生方が熱心に教えてくださるため非常に恵まれた環境です。一般的な疾患から3次救急まで幅広く見ることができるため実臨床での応用力も身につけることができます。初級研修の病院を選ぶ際には、見学を通して雰囲気を見ることが重要だと思います。是非見学に来てみてください。

私は学生時代から産婦人科に興味があったため、産婦人科やNICUをはじめとした科が揃っている病院として川口市立医療センターを研修先として選びました。研修が始まってからは病棟や3次救急の初期対応などを通して多くの手技や知識を身につけていくことができ、医師として成長できると感じました。出身大学や医局にとらわれず多くの先生方や先輩方に熱心に指導していただき、非常に勉強になると感じます。是非一度見学を通して病院の雰囲気を見てみてください。



研修医1年目

高橋 沙椰



女性医師支援コーナー

- ・院内保育所の設置(時間外保育も対応)
- ・妊娠中、育児中の当直勤務免除あり
- ・育児短時間勤務も可能



連絡先 川口市立医療センター

病院総務課職員係

〒333-0833 川口市西新井宿180

TEL 048-287-2525 (代表) FAX 048-280-1566

E-mail 170.01005@city.kawaguchi.saitama.jp

URL <http://kawaguchi-mm.org/>

アクセス 埼玉高速鉄道線 新井宿駅から徒歩7分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学を随時受付しています。
ホームページ応募フォームよりお申し込みください。
【必要項目】・氏名・大学名・連絡先・見学希望日・見学希望診療科(1～2科)・レジナビフェアでのブース説明を受けたことの有無・当院での病院見学経験の有無